

# 令和8年度剣淵町施政方針（要旨）

剣淵町長 西岡 将晴

私たちを取り巻く社会情勢は、少子高齢化の加速や人口減少に伴う地域経済の収縮、さらには気候変動への対応など、年を追うごとにその厳しさを増しております。こうした激動の時代にあって、先人たちが築き上げてきたこの尊い大地を守り抜き、町民一人ひとりが将来にわたって安心して心豊かに暮らし続け、次世代の子どもたちが誇りを持てる故郷を築いていくためには、今こそ持続可能な地域社会の実現に向けた決意が必要不可欠であります。

私は、本年度の執行にあたり「挑戦と行動」をスローガンに掲げました。「人・夢・大地 次代につなぐ絵本の里けんぶち」という理想を単なるスローガンに終わらせることなく、具現化していくために、「守り」と「攻め」のバランスを常に意識し、町民の皆さまと歩調を合わせ、対話を重ねながら共創のまちづくりを推進してまいります。



## 町が行う主な取り組み4つの重点項目

※下線付きは新規・主要事業等です。

※この他の事業については、5頁、6頁をご覧ください。

### 1 稼ぐ力の拡大と地域産業の発展

- ◇ふるさと納税事務 10,065 千円  
従来のふるさと納税の他に  
あとから（現地型）ふるさと納税で支援の幅を拡大
- ◇企業版ふるさと納税マッチング支援業務 330 千円
- ◇剣淵町メディアコンシェルジュ業務 1,800 千円
- ◇商工業振興対策事業 計 75,671 千円
- ◇サイクリング事業ぐるっとライド実行委員会補助金 500 千円
- ◇農業振興対策補助事業 12,563 千円
  - ・スマート農業促進事業助成金  
(機械購入助成・ドローン免許費用助成)
  - ・農地排水機能向上対策事業補助金（単価 175 円/m）等
- ◇緊急銃猟業務 890 千円
- ◇町有林整備事業 計 32,749 千円  
(主伐、造林、間伐、保育間伐、下刈)

#### ■ふるさと納税の拡大と

絵本の里剣淵町の発信力の強化

ふるさと納税の強化（返礼品開発やデータ分析、支援の幅を拡大等）を進め、単なる寄附ではなく「剣淵町のファンづくりのためのマーケティング」として強化していきます。

また、「絵本の里けんぶち」をより発信していくために企業と連携し、効果的なPR業務を行ってまいります。

#### ■地域産業の発展

地域産業の自立と活性化は、本町の持続的な発展を支える最重要課題です。商工業の振興を力強く推進するため、商工会との緊密な連携を維持し、地域内での経済循環を促進し、地元消費の拡大を図ります。

観光分野では「ぐるっとライド」をはじめとする地域資源を生かした体験型イベントを通じて、国内外からの誘客を促進と同時に、「絵本・農業・観光」という本町独自の資源を融合させた独自のプロモーションを展開し、剣淵町の多面的な魅力を戦略的に発信します。

農業分野では、基幹産業である農業の持続可能性を追求します。農地の集積・集約化を加速させ、効率的な農業経営を支援するほか、担い手の育成と経営安定化に注力します。

林業分野では、環境保全と経済性が両立する持続可能な森林経営を目指します。

## 2 コンパクトな生活インフラの再編と安心の福祉

◇町営バス運行業務（デマンド交通導入等） 19,400 千円



◇町道東1丁目歩道改修工事 2,500 千円

◇剣土橋橋梁補修設計委託業務 11,000 千円

◇西4号橋橋梁補修工事 21,500 千円

◇町道南1条道路整備工事 21,900 千円

◇公営住宅内部塗装及び改修工事 1,997 千円



▲内部塗装・改修工事を行う予定の  
平波新団地

◇藤本町配水管布設替工事 5,300 千円

◇多機能心電計更新 4,180 千円

◇短期入所（ショートステイ事業）及び  
夜間養護等（トワイライトステイ）事業 45 千円

◇設置型ベビーケアルーム 3,218 千円



▲設置予定のベビーケアルーム

※写真はイメージ図です。

■交通安全、防犯、生活環境保全関係

◇火葬場火葬炉断熱扉修繕 962 千円

◇可燃ごみ収集運搬・処理業務 18,380 千円

### ■2026 年秋を目途にデマンド交通導入へ

町民の皆様が住み慣れた地域で、将来にわたり安全・安心に暮らし続けられる環境を整えることは、行政の責務です。これらを踏まえ、現在、直営方式で運営している町営バス運行業務において、本年秋を目途に、委託方式に切り替え、デマンド交通（予約型運行）により利用者の利便性向上に努めます。

### ■計画的な改修工事でインフラの長寿命化を図る

建設課においては、老朽化が進む社会インフラの計画的な長寿命化を図ります。町道の舗装改修や河川の維持管理を着実に実施するとともに、冬期間の住民生活を支える除雪体制の更なる強化に努めます。また、水道・下水道施設の更新や公営住宅の修繕を進め、清潔で快適な住環境を確保します。

### ■医療・福祉・子育て支援関係

医療・福祉体制については、町立診療所における最新医療機器の導入や厳格な感染症対策を講じ、地域医療の機能を維持します。

健康福祉課では、生活習慣病の重症化予防や介護予防など、健康寿命の延伸に向けた取り組みを強化します。あわせて、子育て支援や障がい者福祉、成年後見制度の活用支援など誰もが尊厳を持って共生できる切れ目のない包括的な福祉サービスの提供に努めます。



住民課においては、交通安全や防犯、環境保全活動を推進するほか、火葬場やごみ処理施設の適切な運営、国民健康保険制度等の安定的な維持管理を通じ、日々の生活を根底から支えます。

### 3 持続可能な地域コミュニティの再デザイン

- ◇Jアラートアンテナ分離工事 5,500 千円
- ◇防災無線屋外拡声子局等バッテリー交換 1,316 千円
- ◇地域課題解決負担金 500 千円
- ◇自治会活動推進交付金 7,277 千円  
(自治会活動推進費・自治会館維持管理費)
- ◇住宅新築・改修促進助成事業補助金(一部商品券支給) 4,600 千円
- ◇中小企業等U I J ターン者就業奨励金 2,400 千円



▲奨励金贈呈式の様子

- ◇奨学金返還支援事業 360 千円
- ◇まちづくりアドバイザー事業 592 千円



イン  
ター  
ン  
シ  
ッ  
プ  
事  
業  
の  
様  
子

#### ■地域コミュニティを維持していくためには、再デザインが必要不可欠

人口減少に直面する中、地域コミュニティの活力を維持・再生するための「再デザイン」が求められています。総務課においては、災害に強いまちづくりに向け、防災無線屋外拡声子局等バッテリー交換など計画的な修繕を行い、包括連携協定を軸とした広域的な防災体制の整備や、自主防災組織の育成支援を強化します。

#### ■自助公助を進めるための取組と新たな人の流れと活力

地域社会の維持に向けては、自治会活動への交付金等を通じ、共助の精神に基づく絆を大切に守ります。移住・定住促進策としては、各種助成制度や町有地の分譲、地域おこし協力隊による外部人材の受け入れを加速させ、新たな人の流れと活力を呼び込みます。



▲自治会毎に行うクリーン  
ン作戦の様子



▲新たに協力隊となった  
加藤隊員

### 4 地域全体の学びと「絵本の里づくり」の魅力化

- ◇子ども医療費助成(高校生世代まで拡大) 9,439 千円
- ◇学校給食無償化 6,731 千円  
(小学校の国の支援に合わせて、中学校・高校にも拡大)
- ◇児童生徒用・指導者用タブレット端末更新 12,085 千円
- ◇剣淵高校G I G A対応通信設備更新工事 7,359 千円
- ◇高等学校地域みらい留学(道内外募集) 3,469 千円



- ◇剣淵高校情報発信業務 501 千円
- ◇絵本の里づくり条例関連事業 350 千円  
(日本記念日登録、懸垂幕作成)

#### ■ICT環境の整備を行い、豊かな教育環境を

「第3次剣淵町教育振興基本計画」に基づき、ICT環境の整備や修学旅行費の助成、学校給食費の無償化といった、保護者の負担軽減と豊かな教育環境の提供を強力的に推し進めます。

#### ■絵本の里づくりを強力的に進め、魅力を高める

「絵本の里」の拠点である絵本の館については、絵本を軸とした多彩なイベントを展開します。また、本年4月1日より全国初となる「つなぐ、ひろげる剣淵町絵本の里づくり条例」を施行し、8月1日を「絵本の里けんぶちの日」としてさらなる機運醸成につなげてまいります。これらの取組により、町民の皆様の誇りを醸成し、町内外から多くの人々が訪れる、「心の交流拠点」としての魅力を高めてまいります。

剣淵高等学校においては、地元を愛し、社会に貢献できる人材の育成に総力を挙げて取り組むと同時に、生徒募集の強化に努めます。